

CHRO Message

— 人の力を、価値創造の中核へ —

当社では、人的資本経営を単なる方針にとどめず、経営を支える“仕組み”として具体化し、実装してきました。変化の激しい事業環境において持続的な価値創出を実現するためには、人の力を最大化し続ける構造そのものが競争力になると捉えているからです。当社の特徴は、経営戦略と人材戦略を一体で設計し、それを採用・配置・育成・評価・報酬に至るまで一貫して接続している点にあります。必要な人材像から逆算したリソース配置と、人材の価値発揮を最大化する仕組みを通じて、組織としての実行力を高めてきました。こうした取り組みは、最終的に事業成果として結実することが求められます。

そのため当社では、人的資本の投資と成果の関係をROICの観点から捉え、人的資本経営を企業価値向上に直結させる取り組みを進めています。人材への投資が投下資本の効率性を高め、その結果としてリターンを生み出すという構造を可視化し、持続的に改善していく。この考え方を経営プロセスの中に組み込み、人的資本と財務成果の連動性を高めています。

同時に、社員のWell-beingの向上を人材戦略の中核に据えています。これらは個人の充実にとどまるものではなく、挑戦と学習を促進し、生産性と付加価値の向上につながる重要なドライバーです。現場との対話を重ねながら、個と組織の力が循環的に高まる状態をつくり続けています。さらに、AIの進化を踏まえた人材戦略の高度化にも取り組んでいます。重要なのは技術の導入ではなく、それを前提として価値を創出できる人材の育成と配置です。学びと実践の機会を一体で設計することで、社員が変化を自ら捉え、価値へと転換していく力を高めています。

人的資本の開示を通じて得られる社内外からのフィードバックを経営に取り込み、人的資本経営そのものを進化させていきます。今後も、個の力を組織の価値へと転換し、その成果を企業価値として示し続けることで、持続的な成長を実現していきます。

CHRO(Chief Human Resource Officer) 兼
HR部門長

上野 知之

